シメコナゾール水和剤

サンリット水和剤

取扱メーカー:

三井アグロ, ホクサン

**原体メーカー**: 三井アグロ

成分:シメコナゾール〔エルゴステロール生合成阻害剤〕 ……20.0%

性状:類白色水和性粉末 45 µm以下

毒性:普通物 消防法:——

# 

- ●広い抗菌スペクトラムを持ち、子のう菌類、担 子菌類、不完全菌類の多くに抗菌活性を示す。
- ●りんごでは黒星病,赤星病,うどんこ病以外に モニリア病や褐斑病にも高い効果を発揮する。
- ●植物への浸達性が優れ、予防効果に加え、治療効果も発揮する。りんごモニリア病の初期病斑形成後の治療散布で病斑進展を強く抑制する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】…………

- ●いちごの炭疽病は, 育苗期から本圃定植時まで に散布することが望ましい。
- ●水溶性パック入りの製剤なので、次の事項に注 意する。
  - ○濡れた手でパックに触れない。
  - ○外袋の開封後は一度に使いきることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも,できるだけ 速やかに使いきる。
  - ○薬液の調製は容器内に所定量の水の3分の1 程度を入れた後、必要量のパックを開封せずに そのまま容器内に投入する。その後、よく攪拌 しながら容器内に水を定量まで加える。
- りんごに使用する場合は、次の事項に注意する。○モニリア病には、葉腐れの初発後すぐに散布する。
  - ○斑点落葉病には、落花後20日頃までの初期 防除剤として使用する。
- ●使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。

## 【薬効・薬害等の注意】 …………

- ●適用作物(なし)の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- ●さくらの幼果菌核病に使用する場合は、品種・ 栽培条件などによって薬害を生じるおそれがある ので、使用者の責任においてあらかじめ薬害のな いことを確かめてから使用する。

#### 

- ●蚕に対して影響があるので、桑葉にかからない ように注意する。
- ●粉末は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- ●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。
- ●貯蔵上の注意:水溶性フィルムで包装した製剤は、吸湿性があるので湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を堅く閉じて保管する。



# 

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	シメコナゾールを含む農薬の総使用回数
りんご	褐斑病 黒星病 赤星病 うどんこ病 モニア病 斑点落 黒星病	2000~ 4000倍	200~	7日前まで	3回以内		3 回以内
なし	赤星病うどんこ病	4000倍	700 ℓ				
ももおうとう	灰星病 幼果菌核病	2000~ 4000倍 2000倍		前日まで			
ネクタリン	灰星病			7日前まで		散布	
茶	炭疸病 もち病	2000~ 4000倍	200 ∼ 400 ℓ	摘採 7日前まで	1回		1回
だいず	紫斑病	1000~ 2000倍	100 ~ 300 ℓ	14日前まで	2回以内		2回以内
しょうが	白星病	1000倍		7日前まで	5回以内		5 回以内
しそ	さび病	5000倍		前日まで	3回以内		
いちご	炭疸病	2000倍					3回以内
	うどんこ病	2000~ 4000倍					
小粒核果類	灰星病		200 ~ 700 ℓ				
さくら	幼果菌核病	2000倍		展葉始期 ~展葉期			